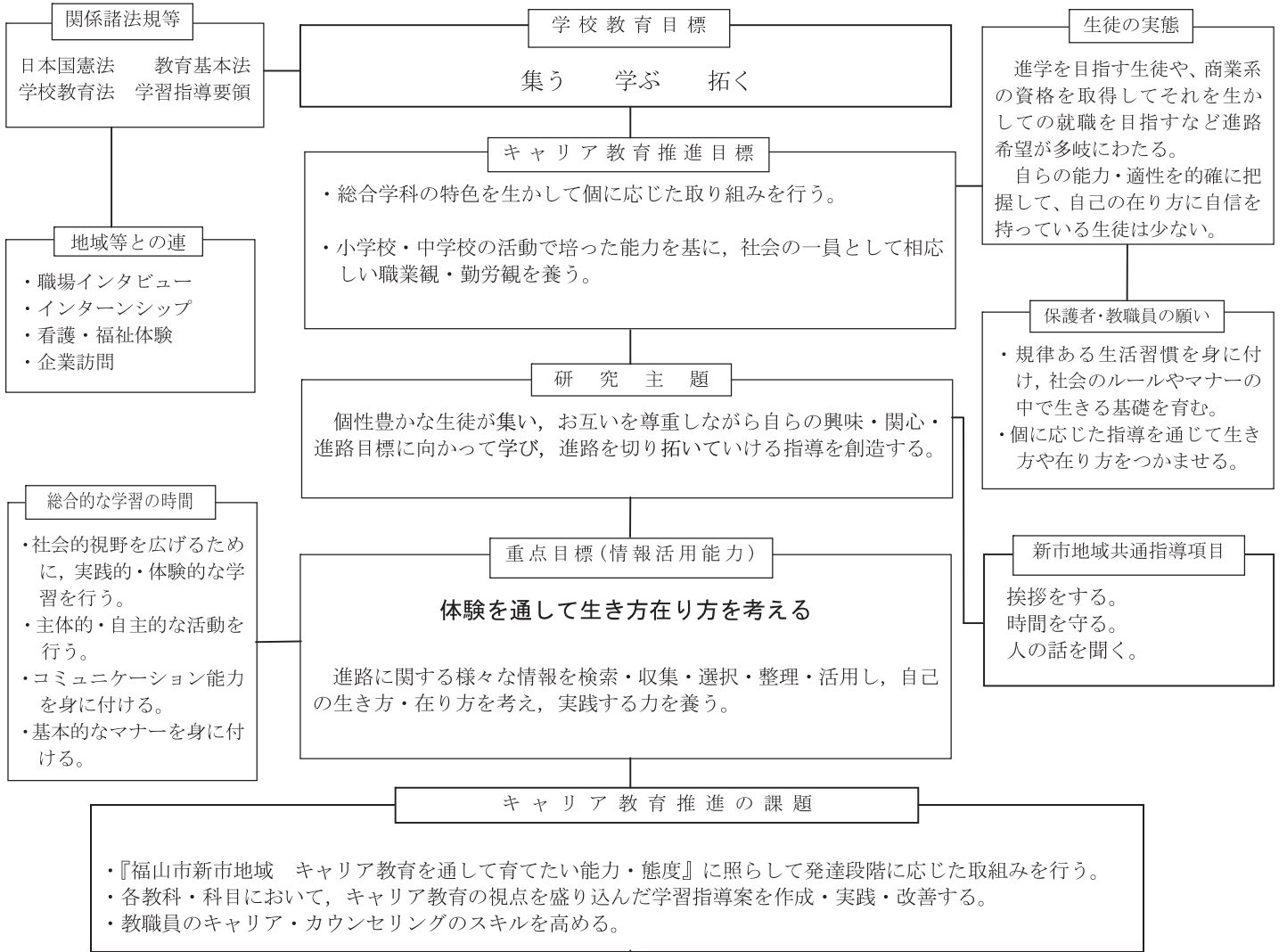


No.12 キャリア教育全体計画例（6）（戸手高等学校）



	第1年次	第2年次	第3年次
目標	<p>様々な方法で自己理解を行い、自らの興味・関心・適性を知る。</p> <p>進路決定に必要とされる知識や情報を多く取り入れ、自らの進路選択の幅を広くする。</p> <p>それらの知識をもとに、自己の「夢」の実現のために今何をしなければならないかを考える。</p>	<p>1年次の経験を生かしながら、自らの興味・関心、進路目標に応じて主体的に考え、行動を起こす。</p> <p>これまでの受動的な学習形態から、「自らが望み、自らが計画し、自らが実行し、振り返り、次の行動のステップとする。」という能動的な学習形態へ移し、意思決定能力を身に付ける。</p>	<p>社会で必要とされる資質・能力である、「自分で課題を見つけ、学び、判断し、行動していく力」を付ける。</p> <p>また、単なる探求ではなく、自己実現や進路実現に結び付けることも考えさせる。さらに、「総合学科のまとめの科目」という意味もあり、科目横断的な内容も創造させる。</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> 「産業社会と人間」 講演会 職場インタビュー 社会のマナーや社会の仕組み ライフプラン 進路探求学習 	<ul style="list-style-type: none"> 「自己探求」(総合的な学習の時間) 北海道研修旅行 講演会 インターンシップ スクールインターンシップ(上級学校における講義の受講) 進路探求学習 	<ul style="list-style-type: none"> 「課題探求」(総合的な学習の時間) 自ら課題を設定し、計画を立て、調査・研究・作品制作をとおして問題を解決し、結果をまとめ表現する。 「LHR」 進路探求学習
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価(地域・保護者)及び授業評価(授業担当者・参観者)の活用 (生徒の)自己評価アンケートの活用 進路の実績や生徒の実践・学習など 		